

氏名 隆島 研吾 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 隆島研吾:「ADLの獲得に向けたトレーニング」, 脳卒中に対する標準的理学療法介入, 潮見泰蔵 編. 文光堂, 東京, 236-249, 2017.4 (共著)
- 2) 隆島研吾 編集、鶴見隆正 (共同編集): 日常生活活動学・生活環境学―第5版―, 医学書院, 東京, 2017.11
- 3) ―ADLの概念と範囲―. 日常生活活動学・生活環境学―第5版―, 標準理学療法学; 鶴見隆正・隆島研吾 編集. 医学書院. 東京. pp. . . . 2017 (共著)

4 学会等での活動

- 1) 佐伯香菜、隆島研吾, 小池友佳子, 高木峰子, 島津尚子: 療育センターの理学療法士が障害児の母親に与える影響 第52回日本理学療法学術大会 千葉 2017.5.13
- 2) 隆島研吾: 第52回日本理学療法学術大会 教育講演 司会. 「これからの地域を担う理学療法士に必要な視点～今まで、そしてこれからも～」講師; 鶴見隆正 第52回日本理学療法学術大会 千葉 2017.5.14
- 3) 尼子雅美、隆島研吾, 小池友佳子: 院内における装具検討会が理学療法士に与える意識変化とその役割～経験年数による比較から～; 第6回日本支援工学理学療法学会学術集会 北九州 2017.9.30

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 副会長
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 表彰審査委員会担当理事
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会 日本地域理学療法学会代表運営幹事
- 5) 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会委員長 (常設委員会)
- 6) 神奈川リハビリテーション研究会 監事
- 7) 神奈川県介護支援専門員実務研修 指導者
- 8) 川崎市障害程度区分認定審査会委員
- 9) 川崎市地域リハビリテーションコーディネーター
- 10) 川崎市福祉サービス第三者評価事業推進委員会委員
- 11) 川崎市施設整備事業選定委員会 委員
- 12) 川崎市指定管理施設評価委員会 委員
- 13) 公益財団法人日本訪問看護財団 研究倫理審査委員会委員
- 14) 三浦市地域ケア連携会議委員 (学識経験者)
- 15) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会委員 (学識経験者)
- 16) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会座長 (学識経験者)
- 17) 三浦市自立支援協議会座長 (学識経験者)

6 学内教育活動

- 1) 大学院) 保健福祉学研究科教授 M2 指導 3 名、M1 指導 1 名 修士判定副査 2 名
- 2) 大学院) ヒューマンサービス論視聴覚教材による授業
- 3) 大学院) 保健医療福祉論演習教材作成および演習授業
- 4) 大学院) 地域理学療法学特論及び同演習における視聴覚教材作成
- 5) 学部) ヒューマンサービス論 I
- 6) 学部) 日常生活活動学および同演習における視聴覚教材作成
- 7) 学部) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 8) 学部) 地域理学療法学および同演習における視聴覚教材作成
- 9) 学部) 平成 29 年度オープンキャンパス個別相談・模擬授業

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター運営委員
- 2) ヒューマンサービス研究会 世話人
- 3) 総務企画委員会
- 4) カリキュラム検討委員会
- 5) 学会長会議構成員
- 6) 法人化検討委員会構成員

8 社会貢献

- 1) 知的障害者施設綾瀬ホーム 相談員
- 2) 第 5 回日本地域理学療法学会 準備委員会委員長
- 3) 神奈川県立保健福祉大学 春期ヒューマンサービス公開講座「学ぶことは生きること」にて講演：「老化を学んでよりよく生きるー若い時から介護予防の知識をー」
- 4) 平成 29 年度 横須賀市リハビリテーション専門職派遣事業連絡会 講師
2017.6.24
- 5) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催 地域包括ケア推進リーダー導入研修 講師
2017.7.2
- 6) 障害者総合福祉推進事業（厚生労働省委託）研究代表にて調査報告書作成
- 7) 川崎市看護協会訪問看護師養成研修 講師 2017.10.5

氏名 菅原 憲一（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) Tetsuya Tanioka et.al Supervising Editors. Nursing Robots Robotic Technology and Human Caring for the Elderly. Kazuhiro Yamazaki, Kenichi Sugawara, et al. Chapter II Necessary Robotic Features to Support the Physical Activities and Rehabilitation of the Elderly PP19-34. Fukuro shuppan publishing, March 2017.

2 学術論文

- 1) 両側足関節の反復運動における位相の違いが皮質脊髄路興奮性に与える影響. 沼田純希, 土屋順子, 立本将士, 大澤竜司, 鈴木智高, 田辺茂雄, 菅原憲一. 日本基礎理学療法学雑誌 20(2): 44 -50 2017
- 2) Real-time changes in corticospinal excitability related to motor imagery of a force control task. Tatemoto T, Tsuchiya J, Numata A, Osawa R, Yamaguchi T, Tanabe S, Kondo K, Otaka Y, Sugawara K. Behav Brain Res. 2017 Sep 29;335:185-190. doi: 10.1016/j.bbr.2017.08.020. Epub 2017 Aug 18.

3 その他の著作

- 1) 理学療法トピックス シリーズ「中枢神経機能の計測と調整」連載第4回 『経頭蓋磁気刺激を利用した中枢神経系機能の評価とその応用』 菅原 憲一. 理学療法学 第44巻1号 72-78. 2017
- 2) 理学療法ジャーナル 特集 筋力低下と理学療法『脳卒中後の筋力低下と理学療法』 菅原憲一 理学療法ジャーナル 第52巻1号 2018年1月

4 学会等での活動

- 1) 第47回日本臨床神経生理学会学術大会 教育講演座長 『人工神経接続による脳機能再建』 西村 幸男講師 12月1日（東京）
- 2) 一側肢の反復練習がもたらす非練習肢運動イメージの変化, およびパフォーマンスへの影響. 大澤 竜司, 岩崎 理紗, 土屋 順子, 田辺 茂雄, 鈴木 智高, 菅原 憲一. 第52回日本理学療法学術大会 平成29年5月12日（千葉幕張）
- 3) 筋振動刺激が拮抗筋を支配する上位・下位中枢神経機構に及ぼす影響について. 岩崎理紗, 大澤竜司, 鈴木智高, 菅原憲一. 第25回日本物理療学会 平成29年10月29日（奈良）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療学会 理事
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 第 53 回日本理学療法学術大会 演題査読委員
- 4) 第 25 回日本物理療学会 演題査読委員
- 5) 『理学療法学』 編集委員
- 6) 『理学療法学』 論文査読

6 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生（M1；2名，M2；1名）の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2名（D1）の指導教員

7 学内各種委員会活動

- 1) リハビリテーション学科理学療法学専攻 専攻長
- 2) 大学院運営委員会委員 委員

8 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員
- 2) 東海大学健康科学部社会福祉学科非常勤講師 「リハビリテーション論」

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 27 年度～平成 29 年度科学研究費助成（基盤研究 C；延長）研究代表者
- 2) 平成 29 年度～平成 31 年度科学研究費助成（基盤研究 C）研究代表者

氏名 米津 亮 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Abdolrahmani A, Sakita H, Yonetsu R Iwata A, Immediate effects of quick trunk movement exercise on sit-to-stand movement in children with spastic cerebral palsy: a pilot study, The Journal of Physical Therapy Science 29(5), 905-909. (査読あり)
- 2) 米津 亮, 黒澤千尋, 島津尚子, 鈴木智高, 岩田 晃, 淵岡 聡. 足関節底屈運動制限下における歩行蹴り出し時の中足指節関節の背屈角度・より歩きやすい短下肢装具の開発のための予備研究-. 神奈川県立保健福祉大学誌 15,20-27. (査読あり)
- 3) 米津 亮, 高橋直恵, 竹内 歩. 聴覚リズム刺激を併用した歩行介入が脳性麻痺児の歩行に及ぼす即時効果, 理学療法ジャーナル (2018年1月30日受理) (査読あり)

4 学会等での活動

- 1) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 山縣 学, 大橋由佳, 小栢進也, 淵岡 聡. 中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具が痙直型片麻痺児1症例の歩行の対称性に及ぼす影響. 日本理学療法学会第52回大会 (千葉)
- 2) 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 米津 亮, 山縣 学, 成澤雅紀. フォアフットロッカーの再現を可能とする短下肢装具の開発. 日本義肢装具士協会学術大会第24回大会 (福岡)
- 3) 米津 亮, 鈴木 淳也, 齋藤 聡佳, 山縣 学, 内田賢一, 前川美和子. 短下肢装具を使用する脳性麻痺児と脳卒中後遺症者の日中活動量の検討. 第33回日本義肢装具学会学術大会 (東京)
- 4) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 山縣 学, 黒澤千尋, 島津尚子, 鈴木智高, 小池友佳子, 淵岡 聡. 中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に対する装着効果-麻痺側上肢の共同運動消失条件に関する探索研究-. 第24回神奈川県理学療法士学会 (神奈川)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会 福祉用具・義肢・装具支援の啓発・実態調査部会 部員 (平成29年7月31日～平成30年3月31日)

6 学内教育活動

- 1) 1年次必修科目「理学療法概論」における視聴覚教材の作成
- 2) 1年次必修科目「理学療法概論演習」における視聴覚教材の作成
- 3) 1年次必修科目「運動学Ⅰ」における視聴覚教材の作成
- 4) 1年次必修科目「機能障害診断学総論」における視聴覚教材の作成
- 5) 3年次必修科目「小児中枢神経系理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 6) 4年次必修科目「卒業研究」における指導 (3名)
- 7) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成

- 8) 大学院 修士論文指導 (M1 : 1 名)
- 9) 平成 29 年度オープンキャンパス個別相談・模擬授業

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科入試委員 委員 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- 2) 自己評価委員 委員 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

8 社会貢献

- 1) 横須賀・三浦地区の障がい児・者の会 講師「障がい児・者にとって歩きやすい短下肢装具の開発研究」(平成 29 年 9 月 22 日)
- 2) 地域に在住の高齢者の体力測定会 参加 (平成 29 年 11 月 19 日)
- 3) 第 30 回横須賀三浦地区 PT 勉強会 企画運営責任者 (平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 21 日)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者: 米津 亮
研究課題名: 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発
補助金名: 科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ II シーズ育成タイプ FS
交付金額: 4,062 千円 (平成 29 年度)
研究期間: 平成 29 年 10 月 1 日-平成 30 年 9 月 30 日 (1 年間)
- 2) 研究代表者: 米津 亮
研究課題名: 蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)
交付金額: 4,030 千円 (平成 29 年度)
研究期間: 平成 29 年 4 月 1 日-平成 33 年 3 月 31 日 (4 年間)
- 3) 研究分担者: 米津 亮 (研究代表者: 清水順市)
研究課題名: 児童用白杖グリップの開発と児童用白杖導入マニュアルの作成
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C)
研究期間: 平成 29 年 4 月 1 日-平成 32 年 3 月 31 日 (3 年間)

13 特許など

- 1) 米津 亮, 鈴木淳也, 斎藤聡佳, 山縣学 (特願 2015-209885) (特開 2017-79929)、短下肢装具 (平成 29 年 5 月 18 日)

14 その他

- 1) 学内研修会「科学研究費申請書の作成ポイント」講師 (平成 29 年 10 月 18 日)
- 2) FD 委員会ニューズレター原稿作成「科研費申請書作成に関する研修会を実施して」(2017 年第 25 号)
- 3) 大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション系理学療法学専攻 非常勤講師

「発達理学療法学Ⅰ」（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

- 4) 広島大学医学部保健学科理学療法学専攻 非常勤講師「小児機能診断学特論」「小児神経系理学療法学」（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
- 5) 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科学位論文（博士論文）外部審査員（平成30年2月5日～平成30年2月9日）
- 6) 大学設置・学校法人審議会 教員組織審査（大学院博士後期課程）D○合の判定（平成30年1月）
- 7) 大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科博士後期課程 学位論文審査 副査（平成30年2月5日-9日）

氏名 内田 賢一（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 内田賢一：日常生活活動学・生活環境学を実感できる演習プラン. 鶴見隆正ほか(編)：標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学，第5版，pp.326-331，医学書院，2017.

4 学会等での活動

- 1) 渡辺拓也、内田賢一、西郊靖子、佐久間藤子、上杉上、中村健：人工股関節全置換術後の身体活動は歩行速度の回復を促進する. 第54回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2017.6.9. (岡山)
- 2) 米津亮、鈴木淳也、齋藤聡佳、山縣学、前川美和子、内田賢一：短下肢装具を使用する脳性麻痺児と脳卒中後遺症者の日中活動量の検討. 第33回日本義肢装具学会学術大会. 2017.10.8. (東京)

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省医道審議会 理学療法士・作業療法士国家試験委員会専門委員
- 2) 神奈川県健康寿命日本一戦略会議 委員
- 3) (公社)神奈川県理学療法士会 理事(学術局担当)
- 4) (一社)全国大学理学療法学教育学会 理事
- 5) 第5回日本呼吸理学療法学術大会 査読委員
- 6) 第35回神奈川県理学療法士学会 査読委員
- 7) 第35回神奈川県理学療法士学会 学会長賞審査委員会委員

6 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学専攻の学生に対する理学療法士としての教育的指導
- 2) 2年次必修科目「生活環境学」における視聴覚教材作成
- 3) 2年次必修科目「筋・骨格系運動療法学」における視聴覚教材作成
- 4) 3年次必修科目「内部疾患系運動療法学」における視聴覚教材作成
- 5) 3年次必修科目「筋・骨格系運動療法学演習」における視聴覚教材作成
- 6) 3年次必修科目「理学療法管理学」における視聴覚教材作成
- 7) 3年次必修科目「スポーツ理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 8) 4年次必修科目「卒業研究」における指導(2名)
- 9) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー「呼吸理学療法学」担当
- 10) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 11) 大学院保健学研究科 副指導教員担当
- 12) 大学院保健学研究科 修士判定 主査
- 13) 第3回ミニオープンキャンパス 模擬講義

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会 委員
- 2) 大学院 入試作問・採点・面接委員

8 社会貢献

- 1) 「よこすかモアーズシティ」へのバリアフリー構造の現状調査協力
- 2) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2017.10.1～2018.3.31.
- 3) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2017.4.1～2018.3.31

9 講演, 放送

- 1) (公社)神奈川県鍼灸師会 平成29年度第3回学術講習会「呼吸器リハビリテーションの実際 - 機能評価と理学療法アプローチ」講師 2017.9.10 (横浜)
- 2) (公社)神奈川県理学療法士会 平成29年度第3回新人教育プログラム研修会「C-3 内部障害の理学療法 - COPDの併存症を再考する」講師 2017.12.3 (横須賀)
- 3) 医療法人財団明理会 東戸塚記念病院「肺理学療法の実際」講師 2018.2.19 (横浜)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究分担者 (研究責任者: 米津 亮)
研究科題名: 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発
補助金名: 科学技術振興機構平成29年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージII シーズ育成タイプF S
交付金額: 4,062 千円 (平成29年度)
研究期間: 平成29年10月1日-平成30年9月30日 (1年間)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 A(協働研究): 健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究.
(研究代表者)

氏名 島津 尚子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 島津尚子：鶴見隆正，隆島研吾編：関節リウマチ，日常生活活動学・生活環境学，標準理学療法学，医学書院．pp151-160，2017年11月

2 学術論文

- 1) 米津 亮，黒澤千尋，島津尚子，他．足関節底屈運動制限下における歩行蹴り出し時の中足指節関節の背屈角度-より歩きやすい短下肢装具の開発のための予備研究-．神奈川県立保健福祉大学誌 15,20-27.

4 学会等での活動

- 1) 島津尚子，隆島研吾，小池友佳子．下肢切断のリハビリテーションに対する理学療法士の実態調査～神奈川県内の急性期・回復期病院を対象に～．第52回日本理学療法学会大会
- 2) 米津 亮，鈴木淳也，島津尚子，他．中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に対する装着効果-麻痺側上肢の共同運動消失条件に関する探索研究-．第35回神奈川県理学療法士学会

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2017.4～2018.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係部員 2017.4～2018.3
- 3) 一般社団法人日本義肢装具学会研修委員 2017.11～2018.3
- 4) 神奈川リハビリテーション研究会幹事(2017.4～2018.3)

6 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 神経筋促通特論における視聴覚教材作成
- 7) 理学療法卒業研究にて学生2名担当
- 8) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当
- 9) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 10) 大学院生指導補助教員（2名）

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 (2017.4.1～2018.3.31)
- 2) 2017年度チューター会担当

8 社会貢献

- 1) 公立大学法人 横浜市立大学附属病院非常勤講師 2017.3～2018.3
- 2) オープンキャンパスにおける個別進学相談
- 3) 高校生向け説明会模擬授業(2017.7)
- 4) 神奈川総合高校模擬授業(2017.6)

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県理学療法士会研修会 第一回新人教育プログラム講師「リスクマネジメント (安全管理と感染予防を含む)」 2017.7

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 米津 亮 (分担者 島津尚子)
研究課題名: 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発
補助金名: 科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP)
ステージⅡ シーズ育成タイプ F S.
交付金額: 4,062 千円 (平成 29 年度)
研究期間: 平成 29 年 10 月 1 日-平成 30 年 9 月 30 日 (1 年間)
- 2) 研究代表者: 米津 亮 (分担者 島津尚子)
研究課題名: 蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B)
交付金額: 4,030 千円 (平成 29 年度)

鈴木 智高

2 学術論文

- 1) Suzuki T, Ogahara K, Higashi T, Sugawara K. The effect of cane use on attentional demands during walking. J Mot Behav 2017: 1-6
- 2) 米津 亮, 鈴木智高, 島津尚子, 他. 足関節底屈運動制限下における歩行蹴り出し時の中足指節関節の背屈角度-より歩きやすい短下肢装具の開発のための予備研究-. 神奈川県立保健福祉大学誌 15: 20-27

4 学会等での活動

- 1) 鈴木智高, 小河原格也, 東登志夫, 菅原憲一. (2017). 杖の使用が歩行中の注意需要に及ぼす影響, 平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2017.7.5.
- 2) 鈴木智高, 小河原格也, 東登志夫, 菅原憲一. (2017). 杖の使用が歩行中の注意需要に及ぼす影響—転ばぬ先の杖は安全で効果的か—, 第 36 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2017.9.24.
- 3) 米津 亮, 鈴木淳也, 鈴木智高, 他. (2018). 中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に対する装着効果-麻痺側上肢の共同運動消失条件に関する探索研究-. 第 35 回神奈川県理学療法士学会, 2018.3.25.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 2017.4～2018.3

6 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害診断学. 2017.4～2017.9
- 2) 電気生理診断特論. 2017.4～2017.6
- 3) 運動学演習. 2017.5～2017.6
- 4) 卒業研究法 学生 2 名指導. 2017.4～2017.11
- 5) 運動学Ⅱ 講義. 2017.10～2018.3
- 6) 筋・骨格系運動療法学. 2017.10～2018.3
- 7) 臨床運動学. 2017.10～2018.3
- 8) 機能障害診断学総論 講義. 2018.1.12
- 9) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2017.12～2018.3
- 10) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2018.1.29
- 11) 評価学実習・総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等. 2017.4～2018.3
- 12) 理学療法学専攻内実習関連業務担当. 2017.4～2018.3
- 13) オープンキャンパス理学療法学専攻模擬講義. 2017.8.5

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会. 2017.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会横須賀三浦ブロック運営委員. 2017.4～2018.3
- 2) 平成 29 年度高大連携プログラム出張講座 (神奈川県立柏陽高等学校). 2017.6.9
- 3) みうら市民健康大学オープンキャンパス協力. 2017.10.29

9 講演, 放送

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会平成 29 年度第 3 回新人教育プログラム研修会講師「理学療法研究方法論」. 2017.12.3

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 鈴木智高. スマートフォンアプリを用いた歩行中の注意機能評価による効果的な転倒予防戦略. 若手研究 B. 1,690 千円. 2017.4～2018.3
- 2) 菅原憲一, 鈴木智高 (研究分担者). 障がい児・者の運動学習に働きかける筋弛緩リハビリテーションプログラムの開発. 基盤研究 C. 2017.4～2018.3
- 3) 菅原憲一, 鈴木智高 (研究分担者). リズム追従運動による脳可塑性を誘導するリハビリテーションプログラムの開発. 基盤研究 C. 1,300 千円. 2017.4～2018.3
- 4) 米津亮, 鈴木智高 (研究分担者). 素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発. 科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージ II シーズ育成タイプ F S. 4,062 千円. 2017.10～2018.9

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師

氏名 高木 峰子（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 谷本 由紀, 佐藤 麻裕子, 横山 紗希, 松田 玲奈, 高木 峰子. 脳卒中回復期におけるミラーセラピーと IVES の併用効果: 51 回日本作業療法学会.2017.09.
- 2) 高木 峰子, 山田 拓実. 経腹超音波を用いた測定肢位の違いによる骨盤底筋評価 尿失禁症状の有無による予備検討: 25 回日本物理療法学会学術大会 2017.10.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県理学療法士会生涯学習部員
- 2) 神奈川県理学療法士会学術誌編集部査読委員
- 3) 日本物理療法学会評議員
- 4) 日本物理療法学会研究助成選考委員長
- 5) 物理療法科学査読員
- 6) 第 25 回日本物理用法学会演題査読
- 7) 第 36 回関東甲信越ブロック学会演題査読
- 8) 第 35 回神奈川県理学療法士会演題査読

6 学内教育活動

- 1) 物理療法学 視聴覚教材を作成, 講義.
- 2) 物理療法学演習 実験, 実技指導.
- 3) 理学療法学研究法 視聴覚教材を作成, 講義.
- 4) 特定疾患理学療法学特論 視聴覚教材を作成, 講義.
- 5) 理学療法過程論 視聴覚教材を作成, 講義.
- 6) 理学療法事例検討論 担当.
- 7) 機能診断学演習の反射, 肺機能検査の視聴覚教材を作成, 講義.
- 8) 臨床理学療法学特論 (大学院) の視聴覚教材作成
- 9) 臨床実習指導者会議に関する運営担当.
- 10) 理学療法卒業研究にて学生 2 名担当.
- 11) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー.
- 12) 評価学実習・総合臨床実習 I・II における現場訪問等.
- 13) 大学院博士前期課程学生指導補助 2 名.

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立保健福祉大学公開講座スタッフ 2017.5,10
- 2) 老人クラブ連合会主催ゆめクラブ大学運営

9 講演，放送

- 1) 高木峰子．神奈川県理学療法士会新人教育プログラム講演「協会組織と生涯学習システム」2017.7.
- 2) 高木峰子．ゆめクラブ大学講演「ちょこっともれの原因と体操」2017.10

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高木峰子．干渉低周波療法が骨盤底筋群の収縮に与える即時的効果について．平成29年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B（奨励研究）135 千円
- 2) 米津 亮，分担者 高木峰子．素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発．科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージⅡシーズ育成タイプ F S．4,062 千円

14 その他

- 1) 東海大学介護福祉コース「リハビリテーション論」非常勤講師

黒澤 千尋

2 学術論文

- 1) 黒澤千尋.高齢者や障害者を対象とした動作分析の実際.NPO法人広域連携医療福祉システム支援機構機関紙「れんけい」3号,2018
- 2) 田中亨典,川崎康太,呂善玉,白井英彬,澤見達也,佐藤詩菜,足立徹也,黒澤千尋,小池友佳子.脳血管障害患者に対する油圧制動付短下肢装具と機能的電気刺激療法の併用経験—麻痺側立脚期の膝関節パターンからみた治療効果の検討—.神奈川県理学療法士会・会報,理学療法-技術と研究-,46,9-14,2018.
- 3) 米津亮,黒澤千尋,島津尚子,他.足関節底屈運動制限下における歩行蹴り出し時の中足指節関節の背屈角度-より歩きやすい短下肢装具の開発のための予備研究-.神奈川県立保健福祉大学誌 15,20-27,2018.

4 学会等での活動

- 1) 白井英彬,足立徹也,川崎康太,呂善玉,田中亨典,澤見達也,佐藤詩菜,黒澤千尋,小池友佳子.ウォークエイドと装具療法を併用した歩行練習効果の一考察.第1回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会,10月,大阪.
- 2) 米津亮,鈴木淳也,黒澤千尋,他.中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に対する装着効果-麻痺側上肢の共同運動消失条件に関する探索研究-.第35回神奈川県理学療法士学会,3月,横浜

6 学内教育活動

- 1) 運動学演習(2年次前期),講義および計測補助
- 2) 動作解析学(3年次前期),計測補助
- 3) 機能診断学総論(1年次後期)
- 4) 日常生活活動学演習(2年次後期)
- 5) 機能診断学演習(2年次後期)
- 6) 中枢神経系機能診断学(2年次後期)
- 7) 国家試験対策ショートレクチャー
- 8) 卒業研究指導(4年生3名,3年生2名)
- 9) 臨床実習オリエンテーション(3年次)
- 10) 進路支援オリエンテーション(3年次,4年次)
- 11) 卒業研究発表会準備,論文集制作担当
- 12) 評価学実習,総合臨床実習I・II 現場訪問
- 13) 非常勤講師および外部講師 調整担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員会
- 2) 時間割ワーキング

- 3) 動物実験部会
- 4) オープンキャンパス業務（準備，当日運営）
- 5) ミニオープンキャンパス（7/15）
- 6) 入試業務（推薦入試，センター試験，前期試験）
- 7) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会

8 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区連合運動会の高齢者運動機能測定の前準備・運営（11/19）
- 2) 第28回 横須賀三浦地区 PT 懇話会(2/21)事務局
- 3) 横須賀高校 SSH 1年生5名の研究指導.
- 4) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務局担当

9 講演，放送

- 1) 招待発表：第14回 広域連携医療ネットワークシステム研究会，主催：NPO法人 広域連携医療福祉システム支援機構(6/3)

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津亮（分担者 黒澤千尋），蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発，日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）（研究期間 平成29年度～平成32年度）
- 2) 研究代表者：米津亮（分担者 黒澤千尋），素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発，科学技術振興機構平成29年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）ステージIIシーズ育成タイプFS.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 内田賢一,松尾祐子,黒澤千尋;健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究 研究助成 A

氏名 小池 友佳子

2 学術論文

- 1) 田中亨典, 川寄康太, 呂善玉, 白井英彬, 澤見達也, 佐藤詩菜, 足立徹也, 黒澤千尋, 小池友佳子:脳血管障害患者に対する油圧制動付短下肢装具と機能的電気刺激療法の併用経験－麻痺側立脚期の膝関節パターンからみた治療効果の検討－. 理学療法－技術と研究－. 2018 ; 46 : 9-14.

4 学会等での活動

- 1) 島津尚子, 隆島研吾, 小池友佳子: 下肢切断のリハビリテーションに対する理学療法士の実態調査 神奈川県内の急性期・回復期病院を対象に. 第 52 回日本理学療法学会. 千葉. 2017.5.13
- 2) 尼子雅美, 隆島研吾, 小池友佳子: 院内における装具検討会が理学療法士に与える意識変化とその役割～経験年数による比較から～. 第 6 回日本支援工学理学療法学会学術集会. 福岡. 2017.9.30
- 3) 呂善玉, 小池友佳子, 川寄康太, 田中亨典, 池田智子, 橋本篤, 大竹茉未, 奥津悠斗, 柴山春香, 足立徹也: AlterG bionic Leg 使用による立ち上がり練習の身体への影響. 第 33 回日本義肢装具学会学術大会. 東京. 2017.10.9
- 4) 白井英彬, 黒澤千尋, 川寄康太, 呂善玉, 田中亨典, 澤見達也, 佐藤詩菜, 小池友佳子, 足立徹也: ウォークエイドと装具療法を併用した歩行練習効果の一考察. 第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 大阪. 2017.10.28
- 5) 清水由美子, 杉原陽子, 杉澤秀博, 小池友佳子: 要支援認定者のヘルスリテラシーと周囲からの情報支援との関連. 第 76 回日本公衆衛生学会総会. 鹿児島. 2017.10.31
- 6) 杉原陽子, 杉澤秀博, 清水由美子, 小池友佳子: 在宅要介護認定者の家族の医療処置に対する負担感とその関連要因. 第 76 回日本公衆衛生学会総会. 鹿児島. 2017.11.1
- 7) 米津亮, 鈴木淳也, 小池友佳子, 他: 中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に対する装着効果－麻痺側上肢の共同運動消失条件に関する探索研究－. 第 35 回神奈川県理学療法士学会. 神奈川. 2018.3.25

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部副部長 2017.4～2018.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 2017.4～2018.3
- 3) 公益社団法人日本理学療法士協会 第 5 回日本地域理学療法学会学術大会事務局長 2017.4～2018.3

6 学内教育活動

- 1) 理学療法学概論 講義 2017.6.22

- 2) 機能障害診断学総論 講義 2017.12.7
- 3) 筋・骨格機能障害診断学 講義 2017.4.13～5.25
- 4) 機能診断学演習 講義 2017.10.3～11.21
- 5) 生活環境学 講義・学外演習 2017.10.19, 10.26, 11.9～11.30, 12.1, 12.8, 2018.1.18
- 6) 地域理学療法学 講義 2017.5.19, 5.26
- 7) 地域理学療法学演習 学外見学引率 2017.10.27
- 8) 中枢神経系疾患アプローチ特論 講義補助 2017.10.3～10.24
- 9) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2017.11.13
- 10) 解剖学実習Ⅱ引率 2017.9.5
- 11) ヒューマンサービス論Ⅱファシリテーター 2018.1.9
- 12) 評価学実習, 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱにおける現場訪問等
- 13) 臨床実習指導者会議に関する運営担当
- 14) 臨床実習事前オリエンテーション 2017.11.20, 12.4, 12.25, 2018.1.15, 1.22
- 15) 理学療法学研究法演習 研究指導 2名
- 16) 卒業研究論文指導 2名

7 学内各種委員会活動

- 1) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会
- 2) 図書・情報委員会
- 3) 国家試験委員担当
- 4) オープンキャンパス運営 2017.8.5, 8.6
- 5) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス運営 2017.9.9

8 社会貢献

- 1) 逗子市社会福祉協議会主催 家族介護者教室「介護技術～移動・移乗の介助を中心に～」講師 2017.11.28
- 2) 逗子中部包括支援センター主催「逗子しおかぜ体操」監修
- 3) 逗子中部包括支援センター主催地域ケア会議出席 2017.10.11, 2018.3.28

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度科学研究費補助事業 若手研究 B「要支援高齢者における運動習慣の促進・障害要因の量的・質的分析」(平成 29 年～平成 31 年: 3,120 千円) 研究代表者
- 2) 科学技術振興機構平成 29 年度研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージⅡシーズ育成タイプ FS「素材特性に基づく蹴り出し推進型短下肢装具の開発」(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日: 4,062 千円 (平成 29 年度)) 研究代表者: 米津 亮 (分担者: 小池友佳子)